



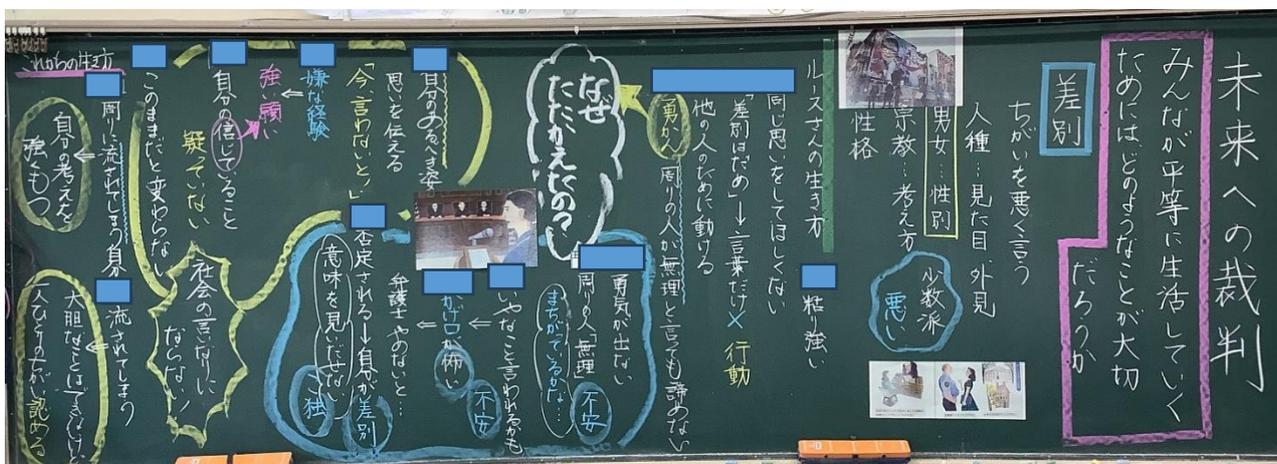
あったかハート推進週間の取組（12月）

今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。12月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
12月	12/9（月）～13（金）	道徳科③ 内容項目：公正, 公平, 社会正義

1 実際の授業

【6年生】



6年生は資料「未来への裁判」を読んで、みんなが平等に生活していくためには、どのようなことが大切なのかについて話し合いました。「未来への裁判」は、女性に対する様々な差別を受けながら弁護士となったルースが裁判を通してあらゆる差別と戦い、多くの人を力づけ、アメリカの裁判の歴史を変えたというお話です。

子供たちは、差別と戦い続けたルースの生き方や、なぜルースは、当時、勝てるはずがないと言われた裁判で戦おうとしたのかについて、以下のような考えをもちました。

- ・ルースは、過去に差別を受けた悔しさを原動力に裁判を戦ったのだと思います。また、裁判の勝ち負けに関わらず戦うことで、差別をされている人の気持ちや考えが伝わり、少しでも世の中が変わればよいと考えたのだと思います。
- ・自分の考えを正直に主張できる人になりたいと思いました。ルースのように国を動かす主張はできないけれど、自分の経験を生かして辛い思いをしている人に手を差し伸べることはできると思いました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・わがままを言わずに、自分の気持ちも正直に伝えようと思いました。（1年生）
- ・相手によって態度を変えると、後で自分に返ってきて互いに嫌な気持ちになるので、みんな平等に接すると自分も相手も嬉しいと思いました。（2年生）
- ・仲良しだから注意しないのは、本当のあったかハートではないと思いました。本当のことを言うことは大切だと思います。（3年生）
- ・障害がある人に、絶対に差別をしてはいけないと考えました。（4年生）
- ・女性が差別を受けると男性にも影響することになると分かりました。差別はよくないと思いました。（6年生）